

【火の山地区観光施設再編整備ロードマップ(主要項目)】

エリア戦略		短期（５年程度）	中期（７年程度）	長期（１０年程度）
		【火の山地区の認知度向上】	【火の山地区の魅力向上】	【火の山地区のブランド力向上】
コンセプト		再生誕 火の山 ～多彩な魅力を発信・体験する場～		
【全体整備】				
入道口から山頂まで快適な移動とともに楽しさを感じられる移動手段の再構築	①主要動線	既存ロープウェイ新移動手段設計（調査・設計）	新移動手段の段階整備	新移動手段とソフト事業との連携による集客
	②トレイル動線	ハイキングルートの検討（見直し）と整備	トレイルルートの検討	トレイル動線の運用開始
	③パークウェイ	パークウェイ（駐車場・道路）の利活用検討	パークウェイ（駐車場・道路）の改修	パークウェイの利活用の本格化
	④駐車場（新設）	各駐車場の設計	山麓公園・関門トンネル入道入口駐車場整備	供用開始
	⑤広域連携	関係者協議	サイクルポート／公共交通の見直し	運用開始
【山頂公園】		～山頂公園の認知度向上～	～山頂公園の魅力向上～	～山頂公園の安定的な集客力の向上～
自然や歴史を生かした年中楽しめるイベント空間	①市民活動の場としての活用	キッチンカー等社会実験/関係者協議	暫定利用から日常利用に順次移行	市民が主体となった市民活動の場へ展開
	②定期的なイベント等の展開の場としての活用	イベント社会実験/利用空間の整備/関係者協議	イベントの継続実施／ライトアップの実施	暫定利用から定期的イベントへ移行
	③砲台跡地の活用	樹木の伐採（間伐）／砲台跡の改修／関係者協議	火ノ山砲台跡の利活用	暫定利用から日常利用に
	④全体の空間整備	子供広場改修＆上記①～③に連携した広場改修	市民への開放	
【ロープウェイ上駅】		～絶景の周知・認知度向上～	～施設整備・情報発信～	～交流促進・ブランド力向上～
眺望を活かした上品なくつろぎ空間	①絶景パノラマビューを生かした展望台設置	展望施設の調査・設計（新移動手段と連携）	展望施設の整備／仮展望台の整備	民間企業と官民連携による地域のブランド力向上
	②新たな癒しの空間への整備	WSの実施（民間企業参画促進）／関係者協議	展望施設内に入る民間企業の選定	民間企業と官民連携による地域のブランド力向上
【山麓公園】		～山麓公園の認知度向上～	～山麓公園の魅力向上～	～山麓公園の安定的な集客力の向上～
自然の中でダイナミックに遊ぶ活動の空間	①自然の中で多世代が楽しめる活動の場	社会実験／樹木の伐採（間伐）／関係者協議	遊具の整備／チューリップ園との連携／関係者協議	フィールドアスレチック整備／イベント実施
	②新たなライフスタイルに対応した取組の場	宿泊施設等との連携検討	宿泊施設とのツアー等の提示	宿泊施設との連携確立と発展
【関門トンネル入道入口】		～火の山地区の認知度向上～	～火の山地区の魅力・集客力の向上～	～火の山地区の観光客の増加～
遊び方を提案する情報提供の空間	①火の山情報交流拠点の整備	サイクルポートの社会実験／関係者協議	ビジターセンターの設計／整備／飲食社会実験	供用開始
	②歴史体験エリアとして位置づけ強化	ビジュアルコンテンツの展開／ツアーガイド整備	火の山全体での観光活用（イベント等）の展開	複合施設との連携による展開と発展